

ボウソナ G7の援助金を一度拒否

「アマゾンの主権」で反発

仏大統領に謝罪求めるも

ボウソナ政権は26日、G7からの2千万ドルにも及ぶアマゾン森林火災対策支援金の受取を断ると表明したが、27日朝、「マクロン大統領が謝罪なら受け取っても良い」と態度を軟化させた。その伏線には、自身とマクロン氏との間で起きた言い争いがあった。27日付付字紙が報じている。

背後で伯国政府の挑発行為

マクロン大統領は26日、G7議長国として、アマゾン森林火災対策の資金援助を断ると表明した。その背後には、ボウソナ大統領が「アマゾンの主権」を主張する動きがある。ボウソナ大統領は「アマゾンは伯国のもの」と強く主張するボウソナ氏は、G7の行動を「宗主国が植民地を扱うかのようなものだ」とかねてから批判もしていた。



26日のG7会議 (Number 10)

ボウソナ大統領は26日、G7議長国として、アマゾン森林火災対策の資金援助を断ると表明した。その背後には、ボウソナ大統領が「アマゾンの主権」を主張する動きがある。ボウソナ大統領は「アマゾンは伯国のもの」と強く主張するボウソナ氏は、G7の行動を「宗主国が植民地を扱うかのようなものだ」とかねてから批判もしていた。

連邦政府 来年度予算の作成に苦心

更なる予算削減の可能性も

来年度予算案提出を目前に、連邦政府は、今年既に行われた支出削減よりさらに大きな削減を強いることになる。27日付付字紙が報じている。特に、職員の人件費や年金などのように、義務的に払う必要がある経費を除いた、義務的ではない支出の削減幅が大きくなりそうだ。来年度の年間予算案(PLOA)は8月31日が提出期限で、すべての歳

出を明確に記載する必要があり、経済スタッフは、算は、前年の予算からインフレ分以上に上げてはならない」というものだ。今年並みのコンテナー不足の懸念から、削減と事前に発表したもの(の)を実行しても、まだ削減が必要だ。来年度予算案の作成は、前年の予算案からインフレ分以上に上げてはならない」というものだ。今年並みのコンテナー不足の懸念から、削減と事前に発表したもの(の)を実行しても、まだ削減が必要だ。

国庫の計算では、19年の義務的支出(人件費など、絶対に削りようがない支出)以外の支出は95.4億ドルで、全体の97.2%に過ぎない。言い換えると、削減し得る支出が9割以上あり、1割以下の部分を出し限を超えないように支出を洗いなおし、削減の余地は大きい。義務的支出の一部を、支出先

肥大化した義務的支出が課題

を政府が選択できるような変更できないかを勘案している。今年度予算は、「基礎的財政収支赤字1390億レアル以内」の達成が目標とされている。その金は、60%を前払いすることや、議会承認、大統領裁可などの手続きが必要だ。



バウロ・ゲデス経済相 (Marcelo Camargo/Ag. Brasil)

収支バランスを改善する必要がある。バウロ・ゲデス経済相は、今年度予算案の作成に苦心している。今年度予算案は、「基礎的財政収支赤字1390億レアル以内」の達成が目標とされている。その金は、60%を前払いすることや、議会承認、大統領裁可などの手続きが必要だ。

ドッセ川の河口は修復不能

ドッセ川の河口は修復不能

マリアナのダム決壊事故で

15年11月5日に起きたマリアナのダム決壊事故で、ドッセ川の河口は修復不能と見られる。この事故は、ドッセ川の河口に大きなダメージを与え、修復が困難な状況に陥っている。この事故は、ドッセ川の河口に大きなダメージを与え、修復が困難な状況に陥っている。

この事故は、ドッセ川の河口に大きなダメージを与え、修復が困難な状況に陥っている。この事故は、ドッセ川の河口に大きなダメージを与え、修復が困難な状況に陥っている。

率29.4%と初めて30%台を割り込み、逆支持率が39.5%に達した。2月は支持率が39%、不支持率が19%だったから、だいぶ支持の相違がなくなった。この修正は、大統領本人の行動に反して、不支持率が53.7%と、過半数を超えている。今回の世論調査は、ボウソナ政権の支持

Table with exchange rates for various currencies: 外為為替市況, 中銀サイトより, 8月27日午後4時現在, etc.

国際派日本人養成講座 伊勢雅臣氏の厳選シリーズ第3弾!

世界が称賛する日本の経営

近年の日本企業は、欧米の株主資本主義の経営こそ最新の経営と思われがちだが、実は、日本の経営は、時代遅れとされている。しかし、人間が成長する存在であること、それを考えるならば、日本の経営は、人々の生活を幸福にするための、優れた経営モデルを提供している。本書は、先人の足跡をたどることで、読者に日本の経営を目的として、その成功の秘訣を明らかにし、日本の企業人、企業、日本国全体が、活力を取り戻すと信じています。

【お問い合わせ】ニッケイ新聞編集部 TEL: (11) 3340-6060
【郵送でのご注文は日系書店まで】
太陽堂:(11)3208-6588 / フォノマギ竹内書店:(11)3104-3399 / 高野書店:(11)3209-3313

本紙土曜日掲載『国際派日本人養成講座』

著者・伊勢雅臣さん厳選24編

Advertisement for the book series 'International Japanese Education Course' by Masahiko Ise. It features images of the books and promotional text: 「一隅を照らす、この国を愛する国際派日本人」, 「無敵の日本人」, 「感動の人物録!」, 「2巻セットで R\$ 180 (日本語)」.

【問い合わせ】TEL: (11) 3340-6060 編集部
地方発送は日系書店へご注文下さい。

GM社長 南米での伯国車シェア低下懸念

生産面では有利な状況も

租税の問題が足を引っ張る

ブラジルは過去数年にわたって、輸出する車両の大部分をアルゼンチンへ市場に振り回してきた。南米の他の国々の市場は、小さいとは言え、年間120万台という、ブラジル国内市場のほぼ半分に相当する、無視できない規模を持つ。しかも秘かに、韓国と中国、メキシコ、その他の国々がこれらの市場を蚕食している。

韓国やメキシコに市場脅かされ

カルロス・ザレンガ氏



を奪われることにならなければならない。これは、差別化された製品に言及しているのではない。ザレンガ社長によると、GMのような企業は、世界の全ての工場に品質とコストに同一の基準を満たした製造プロセスを導入されている。生産面では、ブラジルは、むしろアドバンテージすらあるという。同社長によるとGMが

こうした理由から、太平洋を越えてチリに入港した韓国船が、ブラジル製よりも安価に同国製の自動車をお届けすることができ、同様の状況が、アメリカを中心に国内生産の80%を輸出するメキシコにも当てはまる。ザレンガ社長は業界の経営者が数カ月前、インテグラ（輸出業者向け租税還付特別制度）の

アルゼンチン危機の影響は？

ブラジル訪問のVWが分析

15日にブラジルを電撃訪問したフォルクスワーゲン（VW）のラルフ・ブランダースター最高執行責任者（COO）が、同社に課税を減らす一方で、同社にとってのソリューションを手にしてブラジルを後にした。彼が残した課題は、今

シメンスが伯国で新展開

最新型の集合発電を有望視

シメンス・ガメサが、ブラジル国内の長期事業展開で新たな方向性を打ち出した。

同社は15日に、バイア州カマサリに同社が保有する工業コンビナート内に、風力タービン・コンバーターを製造するためのエリアを立ち上げて



米伯貿易協定交渉はFTA想定せず

トランプの意向も

ブラジルとアメリカの貿易協定は、伝統的な経済上の定義で言われるところの自由貿易協定（FTA）、すなわち全ての品目に対する輸入税率、及びその他の障壁を二国間で撤廃することの促進には向かない。

トランプは、歴史的な障壁を取り除くには不十分だと受け止められている。この発言に関してブラ

ジルの高官らは、ブラジルとの関係強化と協議再開に向けたアメリカ側の意向を、トランプ大統領が政治的意欲を示したものと受け止めた。

ただ、アメリカのウイバー・ロス商務長官は、より慎重な態度を示した。トランプ大統領の発言の翌日、同商務長官は、アメリカと二国間協議に関する交渉が、ブラジルがメロコ

邦収税局の歳入に影響しない範囲で、5%まで引き上げ可能なことが示されていると話す。「工業生産活動が活性化すれば税収も拡大する」という。同社長は、「ブラジル国内の自動車生産能力は400万台。確実に100万台を輸出可能だ」と

いう。国内自動車製造会社協会（ANFAVEA）はこのほど、ブラジルの自動車輸出台数の見直しを下方修正した。新たな見直しでANFAVEAは、2019年の輸出台数を前年比28/5%減の45万台と予想している。（20日付掲載）

ため、同国の経済危機への対応を心懸けている。南米地域を統括するパブロ・デ・シニ氏によると、分析作業は2週間を終える。同氏によると、アルゼンチン国内の2カ所の工場だけでなく、ブラジル国内4カ所の工場でも生産作業を数日にわたって停止せざるを得ないことになると受け止めている。今週に入ってデイ・シ氏は、両国の金属労組との会合を持ち、労働日数あるいは集団休暇の形で労働時間を短縮する可能性について協議した。同氏が初めてではない。ブラジル最大の自動車輸出会社であるフォルクスワーゲン、トヨタ、日産、本田、GM、アルゼンチン国内の経済危機などが引き金となり、既に2019年に

入って休暇を実施している。同社がブラジル国内で製造する車両の4台に（16日付掲載）

1台を輸出しているためだ。（15日付掲載）

JBSが22億の純利益

前年同期からは大逆点

アメリカ国内における牛肉生産が好調期だったことに、ブラジル国内事業で収益率を回復させたことなどが相まって、JBSは2019年第2四半期（4-6月期）に22億レアルの純利益を計上した。前年同期は9億1110万レアルの純損失を計上していた。同社の今期決算は、ドル高も業績を後押ししており、これに伴って当期純収入は前年同期比125%増の508億レアルを計上した。利払い前・税引き前・減価償却前利益（EBIT）は、前年同期比144%増の14億1410万レアルを計上した。同社のGDP成長率が第2四半期（4-6月期）に前期比0.2%増を記録したとするGDPモニタリ結果を発表した。ブラジル地理統計資料院（IBGE）によると第1四半期のGDP成長率は0.1%のマイナス成長であり、FGVの予測通りであれば、再び成長に転じたことになる。クラウジオ・コンデラ調査主任によると、より広範囲な経済活動の活性化が確認されているという。また、前年同期との比較では、0.7%増を記録した。月次の計測によると6月のGDPは、前月比0.7%増の成長を記録。7月の中間投入財の輸入は、前月比1.4%増（季節調整）だったが、8月第1週には1.0%増に減速している。（19日付掲載）

3Qの経済は緩やかに幕閉け

生産活動落ち込む危険性も

2019年第3四半期（7-9月期）のブラジルの経済活動は、7月の現況指数と先行指数から緩やかなペースで幕を開けたことが示されている。

さらにブラジル経済の進む方向性について、様々な指標がバラバラの方向を指している状態だ。主要な先行指標が産業活動が向上していることを示しているが、複数のエコノミストが、生産活動が落ち込む危険性も示している。同銀行のエコノミスト、ルカ

バルボーザ氏は言う。「負の遺産を受け継いで、7月と8月のデータその根拠としてバル

ボイザ氏は、中間投入財の輸入といった、貿易収支のデータに注目する。7月の中間投入財の輸入は、前月比1.4%増（季節調整）だったが、8月第1週には1.0%増に減速している。（19日付掲載）

を拒否するような動きは現時点では確認されていないと説明した。外務省は現在、フランスとフィナンシャルが要求したブラジル産牛肉に対する禁輸措置が実際に導入されるかどうか、推移を見守っている。より長期的な観点からは、ブラジルが過度の報復や規制とみなす状況が復元した場合、世界貿易機関（WTO）への提訴も視野に入れている。（26日付掲載）

「あらゆる指標が、2019年のGDP成長率が平凡なものにとどまることを示している」という。なお、2018年のGDP成長率は1.1%増だった。（15日付掲載）

「再生可能エネルギー」の投資の大部分はすでに網への供給で安定を確保でき、より信頼性が高いと受け止める。「ブラジルに対して当社、利用可能な最新技術を導入するという方針。当社の狙いは明確だ」と投資の大部分はすでに網への供給で安定を確保でき、より信頼性が高いと受け止める。

「再生可能エネルギー」の投資の大部分はすでに網への供給で安定を確保でき、より信頼性が高いと受け止める。



ウイバー・ロス商務長官

輸出減少を外務省が懸念

アマゾン火災でイメージ悪化

アマゾン熱帯雨林で発生している大規模な火災に関連して、外務省は、ブラジル政府とジャーナル・ボウソナロ大統領に對する国外でのイメージ悪化と、それに伴う輸出の落ち込みを懸念している。パロール紙の取材に対して、様々な国の外交官が、大使館前で抗議運動が

行っている。同銀行のエコノミスト、ルカ

バルボーザ氏は言う。「負の遺産を受け継いで、7月と8月のデータその根拠としてバル

ボイザ氏は、中間投入財の輸入といった、貿易収支のデータに注目する。7月の中間投入財の輸入は、前月比1.4%増（季節調整）だったが、8月第1週には1.0%増に減速している。（19日付掲載）

を拒否するような動きは現時点では確認されていないと説明した。外務省は現在、フランスとフィナンシャルが要求したブラジル産牛肉に対する禁輸措置が実際に導入されるかどうか、推移を見守っている。より長期的な観点からは、ブラジルが過度の報復や規制とみなす状況が復元した場合、世界貿易機関（WTO）への提訴も視野に入れている。（26日付掲載）

「あらゆる指標が、2019年のGDP成長率が平凡なものにとどまることを示している」という。なお、2018年のGDP成長率は1.1%増だった。（15日付掲載）

「再生可能エネルギー」の投資の大部分はすでに網への供給で安定を確保でき、より信頼性が高いと受け止める。

B-side からのお知らせ

龍谷大学同窓会南米支部が発足

龍谷大学経済学部1期生（昭和40年卒）でパラグアイ在住の島崎允也（しまぎき・）氏が発起人となり、さる6月10日、サンパウロ市内で、パラグアイとブラジルの龍谷大学OBにより龍谷大学同窓会南米支部が発会しました。

南米支部は当面、社会学部2期生（平成5年卒）の美代賢志（みよけんじ）氏が世話人となり、調査・翻訳会社「B-side」の事務所を連絡先とします。OBリストへの登録を希望する方は kenji_miyohotmail.com までメールにてご連絡ください。

クリッピング調査や翻訳もお任せください

2Qに0.2%増の成長も

FGVはGDPに喜べず

経済ニュース速報 & データベース

・ コピー&ペーストで報告書が作成可能な最新のビジネスニュースをいち早く入手したい
 ・ データベース化された情報を利用したい
 ・ 求めるニュースや話題を伝えてインタラクティブに情報入手・交換したい

効率的に連携させて効果的な利用が可能です

そんな「したい」を、B-Side Solutionsがお手伝いいたします。

お問い合わせは、サイト運営会社の B-Side Solutions Ltda. へ。

Rua Apeninos, 665 1ºand. Sala3 Paraíso - São Paulo - SP Tel: (11) 3271-5680 <http://b-side.brasilforum.com> / b-side@brasilforum.com

B-side

経済ニュース速報 & データベース

効率的に連携させて効果的な利用が可能です

そんな「したい」を、B-Side Solutionsがお手伝いいたします。

お問い合わせは、サイト運営会社の B-Side Solutions Ltda. へ。

Rua Apeninos, 665 1ºand. Sala3 Paraíso - São Paulo - SP Tel: (11) 3271-5680 <http://b-side.brasilforum.com> / b-side@brasilforum.com

ニッケイ歌壇 (589)

上妻博彦 選

カビオナス

伊藤藤代子

小鳥きて無心に花をついばを朝の窓辺に湯呑み持ち見る

西陣の帯は愛しきわが町のバスター生れの絹糸まき

民謡の「道南口説」伯人が唄えは移移百年のひびき

「父の日」のにぎわう店に会話なく酒飲む父とスマホ

見る息子(一)と

冬の小工、ノロノロとしてテレビ前降りたり来たり操縦

不能

「評」伯人が道南口説を唄つてくれる、移民

百年のひびき。こそこれがこの国での感慨である

と両親に連れてこられた子供移民が詠んだ作品で

ある。そして四首目、三句に「会話なく」を据え

て、ゆるぎない一首となしている佳作である。

サンパロ

武田 知子

「評」四首目、三句の太陽の落下の如し原爆

学徒我輩島より通ひしは三菱重工動員として

血の海と瓦礫かき分け飛び降りて丸太渡りて対岸に

逃げ

雨黒き市中逃がれて街道の宮島口迄徒歩で何とか

生き残り輪重ねて被爆の身南の国に身を癒しつつ

「評」久しぶりに武田氏の作品にふれて目をみはら

た。人類がまともに二発もの原子爆弾を受けた最

初の国、日本。それほど劣悪な人種だったのだ

らうか。こう記してはる小生は四五歳下であつた

らう。学童疎開として親元を離されて山村にいて

二発目の直雲を見た者も居た。

影山 孝

カナリヤがえさをくると木の枝で親子で歌うおどり

ながらに

クルイラは(い)もめんこい声で鳴くこれがほんとの青

い鳥かも

カアチヤンは野らのおむと議論する何を言うのかカ

ウカウカウ

井戸の水冷々今日も南風これは早の前ふれだとか

新のくど十九世紀と孫笑う原始力だと言つてはみるか

短歌など載せてもらった新聞も読める人無きコロニア

となり

「評」六首目の下の句「読める人なきコロニア」

五首目の命と孫との見解の隔たりが面白い。いつまで

も新のくど「原始力」を通して下さい。前半四首の

純粋な捉え方の出来る眼が持ち続けられるだろう。

ノロカバ

久々の友の便りの字の乱れ他人事(ひとごと)ならず

吾もふるえて

ブラジルに感謝の心詩(うた)に詠み子等に守られ趣

味に(い)と

「評」人生の完成度は孫までの「質」数などと言

た人も居った。小生にとつては有難い言葉である。

我一族も大家族主義で、八人兄妹の小生は戦後の

どきどき頃、長子でありながら、母親にぶつ

つと文句をたれ、ついにこの国に移った。これが

最も親不孝であった。三、五首、全く共感。

離れ住む娘(二)の県命の持て成しに寒き三日を心

熱く過ぐ

電話では話せぬ細(こまか)き事までも語りて知らず

時の過ぎ行く

山焼きか山火事か黒き煙見ゆサンパロより帰る車

中で

太陽が戻りつ、ある感じせり風なき七月の朝のひと

き

「評」親と娘の久しぶりの語らいに時間の過ぎ行

きも忘れてる作者の心の熱い思いが「電話では

」の処に如実に表現されている。四、五首も目

新しい作品と言へる。特に五首、印象鮮明。

蜂谷 夏子

「評」タカスカルの歌

はるばるとジェット機乗りつぎ降り立ちしマダガス

カルの太古の世界

サンパナでペーパーバオバブの木を探し親子四人で抱

かかえたい

知らぬ間にタイムトンネルくぐり抜け進化忘れし動

物に逢う

人の世のストレス忘れこの島で暮らしたくなる不思議

な世界

アドレスはバオバブタワー入口のドアさえあればマイ

ホームになる

「評」タイムトンネルをくぐり抜けるには体力と

覚悟がいる。上から下に流れる経済力学をかなぐ

り棄てないと不思議な世界に生きることが出来な

いと、願望をいだきつづける作者である。

サンパロ

安中 攻

「開拓地の追憶」

カボクロの弾く弦楽器聞こえ来る綿つみ終えた月の夜

空に

サンパオナ哀き恋唄奏せり失恋せし隣の青年

櫻咲く小高き山の公園の夢への歌碑に歌心つく

音もなくいきよ散る櫻花心の闇を笑うが如く

繊細な匠(たくみ)の技よ越前の竹人形に感嘆しき

味に(い)と

東の間の長者に似たる付い東北の宿に世俗忘れて

「評」訪日して先ず気付くことは、一首目に共感し

きり、つづく「老は深めり」である。同時期に

小生も訪日したのであるが、こちらは体力にぞぐ

わぬい相だまれた日程に辞易し、作品どころでは

なかった。どの作品にも満感胸に迫る思いです。

霜去れど朝夕寒き乾燥期枯れ草の中に蒲公英をみる

霜に焼け半分残った小麦にも美り風は心地良きかな

霜帯びた胡麻塩頭も春めけけ日除け帽子を被りたく

なる

春風にフエイジョン時けと誘われて五つの鉢に隠元豆

時く

吾は今日鎌の替りに杖を持ち緑生える公園に行く

「評」しっかりと農に腰を据えた作者の目は常に

季節の中に移りゆく自然の変化を見逃さない。枯

草の中の蒲公英はすでに白花をつけて、飛翔の

準備をととのえる。胡麻塩頭も自ずと日除け帽子

を被りたくのである。そうした日々の自身の

動きを作品化する湯山に感服する。

湯山 洋

友近きぬ「長い友情ありがとう」と最後の声で弱

き握手

老衰という自然に還るような死に医学が見放つ常識

ありぬ

あの世へは漂流したる舟で行く一人乗りにて遠い闇路

を

「死んだか」と冷淡とも聞く言葉吐く人を悼むに思

い

亡き人をいつまでもたつても忘れない空気の中の酸素の

ように

「評」限りなき友情を確める氏の握手にひきかえ

老衰という言葉と見放つ医学の生死観。ぎりぎり

まで詠い続けようとする詩人としての冷徹な眼を

見る思いがする。

サンパロ

峰村 正威

「令和」の日本

日本の天候異常は異常なり「令和」といふも不吉な

予感の

参院選民の関心薄くして小市民化せし日本のゆくへは

なかりを大切に思う。その末の弟が亡母の意志を

保たむと一心な姿を、作者は長子として、亡母に

変わる思いのまなざしを向けようのである。

離島の律儀者の家族生れて、八人の長子の小生

氏は七人で長子であることを知った。

長井エミ子

幼きが蒲柳の母の杖として駆け抜けし戦後今はまほ

ろし

輸送船最期の父の居場所とカルモの桜涙ふくめり

脱皮せし蝶華やかに舞いをるに思い感いて終活の日々

我がすてさんげのしたくなるような冬空の色冬空の

バス停はスマホ片手に若者等満開のイースタックと立

ちをる

「評」この度の作品には、「幼きが」父母を助けて

戦後を生きて抜いた人達の回想が見られた。特に子

バシンの家族では、先に生れた者達が、リーダーシッ

プとして生きるのが当然であった。日本への引揚げ

船にも乗れず、今言うカルモの桜の里で涙をふいた

のことも知らない。蒲柳(ほりゅう)の母も子供の力

を当てて生きていたのである。今言う「終活」の中

では、蝶の舞と思える事も「冬空の色、冬空の雲

とたたみかけるまでの懺悔と言いたかった。

相部 聖花

冷蔵庫にしまい忘れし野菜あり豊かな日々戦後を

思ふ

リユク背負ふ手を貸すむすめあたたかし

空き家今修理最中庭地の春

モリソウの花咲き揃ふ路地の春

染め髪の色はショームく春の街

「白髪を染めるのではなく、天然髪を好みの色に

染めるのが流行りという。今やフツフツの時代。

一時日本で流行った茶髪には驚かされたが、金髪

赤髪、紫や銀色等々世界の流行のコスメチコ。出

現に合わせた奇抜な服装も眼を眩る。春の街に出

何? そんなことをふと考へさせられる句だ

涙へ返り買物忘れ急ぐ家路

咲き満ちて少し疲れおさまらぬ

花の下妻と写真におさまらぬ

花咲み我も八十三歳かな

花冷えにまけず蜂鳥忙しなく

生きる身の今日も生きて冬晴れる

西暦と和暦のありて春を待つ

物忘れ防ぐ手にあらず寒卵

薄倅は吾のみにあらず寒卵

母子共に車で運びし海水で母の作りし粥美味なりき

煮沸する新などはなく軍港の浜の海水子等を生かせ

り

バス代を一個の飯(ふすま)のパンに替え歩きし道の

り遠からざりき

「評」戦後と言へば先ず食、同世代を生きた

者にとっては一つが骨身にしみ忘れられない

記憶である。十二、三才の少女の弱肩に、海水の

桶をかき小屋の平鍋に運ぶ。炊き上がった塩か

米に換る。命に代る。車で運んで新が手に入ら

ぬ。こう記しながら涙がこみ上げてくる。終戦記

念日のNHKのテレビは「オイシイ」の形容詞が

もつなくなつた。あ。

西田はるの

大かぼちや五キロはあると抱きかかえ

大根やしほ混ぜ目かり戦時中

虫の音も聞こえぬ虚しい住まい

「評」戦後と言へば先ず食、同世代を生きた

者にとっては一つが骨身にしみ忘れられない

記憶である。十二、三才の少女の弱肩に、海水の

桶をかき小屋の平鍋に運ぶ。炊き上がった塩か

米に換る。命に代る。車で運んで新が手に入ら

ぬ。こう記しながら涙がこみ上げてくる。終戦記

念日のNHKのテレビは「オイシイ」の形容詞が

もつなくなつた。あ。

西田はるの

大かぼちや五キロはあると抱きかかえ

大根やしほ混ぜ目かり戦時中

虫の音も聞こえぬ虚しい住まい

「評」戦後と言へば先ず食、同世代を生きた

者にとっては一つが骨身にしみ忘れられない

記憶である。十二、三才の少女の弱肩に、海水の

桶をかき小屋の平鍋に運ぶ。炊き上がった塩か

米に換る。命に代る。車で運んで新が手に入ら

ぬ。こう記しながら涙がこみ上げてくる。終戦記

念日のNHKのテレビは「オイシイ」の形容詞が

もつなくなつた。あ。

西田はるの

大かぼちや五キロはあると抱きかかえ

大根やしほ混ぜ目かり戦時中

虫の音も聞こえぬ虚しい住まい

「評」戦後と言へば先ず食、同世代を生きた

者にとっては一つが骨身にしみ忘れられない

記憶である。十二、三才の少女の弱肩に、海水の

本芽晴友は帰国の旅人に

「永の帰国か、時のな帰国か。前者は永住帰国

後者は訪日帰国。いずれにしても旅の人となつて

帰つて行く。早春の佳き晴れの日々の友との別れ

を爽やかに詠んだ二句。別れの佳き晴れの日々の友との別れ

摩もな。きと訪日の友を見送ったのであろうう

と月もすればまた帰つて来るのだ。

笑つて見送る別れなのである。

サンパロ

母のペン排句したむ彼岸花

父母恋し葉月の月に思ひ馳せ

電話奥の笑い声風光る

大かぼちや五キロはあると抱きかかえ

大根やしほ混ぜ目かり戦時中

虫の音も聞こえぬ虚しい住まい

「評」戦後と言へば先ず食、同世代を生きた

者にとっては一つが骨身にしみ忘れられない

記憶である。十二、三才の少女の弱肩に、海水の

桶をかき小屋の平鍋に運ぶ。炊き上がった塩か

米に換る。命に代る。車で運んで新が手に入ら

ぬ。こう記しながら涙がこみ上げてくる。終戦記

念日のNHKのテレビは「オイシイ」の形容詞が

もつなくなつた。あ。

西田はるの

大かぼちや五キロはあると抱きかかえ

大根やしほ混ぜ目かり戦時中

虫の音も聞こえぬ虚しい住まい

「評」戦後と言へば先ず食、同世代を生きた

者にとっては一つが骨身にしみ忘れられない

記憶である。十二、三才の少女の弱肩に、海水の

桶をかき小屋の平鍋に運ぶ。炊き上がった塩か

米に換る。命に代る。車で運んで新が手に入ら

ぬ。こう記しながら涙がこみ上げてくる。終戦記

念日のNHKのテレビは「オイシイ」の形容詞が

もつなくなつた。あ。

西田はるの

大かぼちや五キロはあると抱きかかえ

大根やしほ混ぜ目かり戦時中

虫の音も聞こえぬ虚しい住まい

「評」戦後と言へば先ず食、同世代を生きた

者にとっては一つが骨身にしみ忘れられない

記憶である。十二、三才の少女の弱肩に、海水の

桶をかき小屋の平鍋に運ぶ。炊き上がった塩か

待望の潤いありて草萌ゆる

日本より見事な桜の絵はがきが

吉川貴盛農林水産大臣が来伯

第4回日伯農業・食料対話

移民史料館「生涯忘れない」

日伯両政府による「第4回日伯農業・食料対話」が、26日午前、サンパウロ州工業連盟(FIESP)で開かれた。日本からは吉川貴盛農林水産大臣、伯国からはテレサ・クリスチーナ農務大臣が出席し、両国の貿易・投資を促進する観点から率直な意見交換を行った。吉川大臣は午後からイビラエラ公園の日本館を視察し、25日に訪れた日本移民史料館同様、深い感銘を覚えたという。夜にはジャパン・ハウスで行われた「みやさきの夕」にも出席した。



開会式後の西森ルイス連邦下議、吉川貴盛農林水産大臣、テレサ・クリスチーナ農務大臣

「日本企業と伯国農産物輸出の促進」をテーマとした対話。次はブラジルで「日伯農業・食料対話」を開催することになった。両大臣に加えて、パラナ州農業関係者を支持基盤とする西森ルイス連邦下議も出席した。吉川大臣は開会挨拶で、「ブラジルは我が国にとって、食料安全保障上重要な国、世界最大規模の200万人の日系人を有し、関係が深い国だ」と関係の深さを強調した。

丹下太鼓道場発表会、1日

日本の豊かな四季をテーマに

丹下セツ子太鼓道場(桐原アウミル代表)は「道場創立41周年記念・第9回発表会」を9月1日午後2時から、聖市のブラジル宮城県人会館(Rua Fagundes, 152, Liberdade)で開催する。入場料は20レアル。

同道場は、ブラジルでも伝統ある太鼓集団で、日本で活動し、数々の有名演歌歌手とも共演する。丹下太鼓(在東京部)の助太鼓・今泉豊氏にも過去に指導を受けた本格的な練習成果を披露する。当日は、生徒がこの1年の練習成果を披露する。今回のテーマは「四季」。日本のバンドJIT、TERIN JINNの代表曲「夏祭り」や、オリジナル楽曲「雪」などを演奏予定。選曲や衣装演出など、様々な工夫で季節感を表現する。太鼓の他にも三味線とギター、ピアノ、さらに伯国の楽器も合わせたバンド演奏や日本舞踊も披露する。

齋藤真里奈さんが訪伯研修

大阪・聖市姉妹都市協会

齋藤真里奈さん(22、静岡県)が大阪・サンパウロ姉妹都市協会による研修制度で20日に来伯。23日に来社した。先週行われた姉妹都市50周年記念行事にも出席し、研修しながら9月2日まで滞在の予定。齋藤さんは大阪大学外国語学部専攻3年。今年2月に行われた同協会主催「第9回ポルトガル語スピーチコンテスト」に出場して優勝した。その副賞として今回の約10日間の伯国研修を獲得した。滞在中は両市の交流活動を担当する聖市役所国際課や、大阪市立田辺小学校との姉妹校のオオサカシ小中学校、またサンパウロ州立総合大学(USSP)を訪ねる。母親の家族が沖繩県出身であることから、ブラジル沖繩県人会の会員との交流、大学で専攻するポルトガル語と関連して市内の文学資料館などの見学も希望している。齋藤さんは日系伯人が多く暮らす静岡県浜松市だが、私はポルトガル語が分からず、友人のことを深く理解できていない」と感じた。



来社した齋藤さん

仕事をこなしていたのだと、この超多忙さのために農場を自分で管理できず、労働者に任せられた結果、100トン採れていたビニールハウスが50トンに減産し、MTAの会議、教員や資材を車で運ぶなど数々の困難に直面した。移住先は、トメアス1号移住地だ。トメアス1号移住地について資料を読めば読むほど、想像を絶する苦勞に驚愕する。例えば「アカラ野菜組合」を発足し、ごく一部の一流階級しか食べない野菜を販売し、トメアス1号移住地では、外部は赤道直下の太陽に焼かれ、内部はマラリアが慢性化し肝臓を侵されて、皮膚がどす黒く濁った色に変わっていった。「マラリア色」「アカラ色」と呼ばれ、ベレン市に出るとアカラの人だとすぐに分かる程だったとか。この治療のために、特効薬「キニーネ」で治療を受けたことで誘発されたのが「黒水熱」。赤い尿が出たことから、別名は「赤しようべん」という。これは当時命とりの病気とされ、この病気の恐怖が退耕者続出に拍車をかけた。

カフェ・カズ 新作 苺パフェがデビュー!

聖市トマス・ゴンザガ街で人気の日本食店「カフェ・カズ」(R. Thomaz Gonzaga, 84/90 - Liberdade)。苺たっぷりの新作パフェ(23・20レアル)が23日にデビューした。アイデアは、同店のパティシエ・リサさんとブラジル日本交流協会の研修生、堀尾藍似さん(21、東京都)によるもの。苺がふんだんに入ったパフェは、写真に映える美しい層を見せる。上から苺のアイス、苺ムース、バナナ、チョコレートガナシエの甘い味。下にいくほどヨーグルト、苺ピュレなどのすっきりとした酸味が味わえる。堀尾さんは「最近の日本のパフェは果物をたくさん使っていて、見た目も可愛い。7月半ばから色々調べてリサさんに提案して、開発しました」と説明する。「季節もので親しみやすいパフェ」にしようと第1弾は苺のパフェに。こだわりの既製品を使わず、全て手作りのこと。パリパリ食感のアーモンドを入れ、「見た目も味も上品にしたい」と手抜きは一切ない。伯人好みの味を知るために、従業員に味見をしてもらい、休みの日にはカフェ巡りで研究する。1日7-14個限定(白により変更)。苺パフェは今月いっぱい、来月からはピタヤも入ったマンゴーパフェがデビューする。その他の情報はエスパソの公式インスタ(instagram.com/espacokazuoficial)で配信中。

ひとまち 点描

キヤベツの周年栽培の品種を作出し、ブラジル日本文化福祉協会の山本喜善司賞を受賞。また、同賞の審査員も長年務めていた。邦人農家の生活基盤の確立・地位向上に貢献し、ブラジル社会に功績を残した。日系社会ではモジ・ダス・クルーゼス文化協会の副理事長、評議員会長としても貢献した。また、その活躍から日本国より勲五等を受章した。サンパウロ新聞主催のエッセイ大賞も受賞するなど、幅広い活躍を見せた。葬儀は25日モジ市のサンサルバドール墓地に埋葬された。初七日法要はなし。四十九日法要は未定。

kenko hirose
健康食品
プロポリス・アガリクス専門店
日本への発送もしております。
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
(バロン・デ・イグアペ街とガルボン・フェノ街の角)
Tel: (11) 3271-5608 • Fax: (11) 3271-5716
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

いろんな痛みと病気に**針灸 ACUPUNTURA**
電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療
Dra. MONICA Y. MORISHITA 電気鍼療法
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura 体重減少にも効果的
大学院で針灸学を専攻いたしました
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp"
E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

VIAÇÃO GARCIA
Diminuindo Distâncias. Aproximando Pessoas.
LONDRINA / SÃO PAULO
Saída Frequência Chegada Prevista
13:00hs. Diário 19:35hs. Double Class
23:00hs. Diário 05:35hs. Double Class
23:40hs. Diário 06:15hs. LD
SÃO PAULO / LONDRINA
Saída Frequência Chegada Prevista
10:30hs. Diário 17:40hs. Double Class
15:00hs. Diário 22:55hs. LD
23:00hs. Diário 05:35hs. Double Class
MARINGÁ / SÃO PAULO
Saída Frequência Chegada Prevista
22:30hs. Diário 06:45hs. LD
SÃO PAULO / MARINGÁ
Saída Frequência Chegada Prevista
21:45hs. Diário 06:00hs. LD
INFORMAÇÕES: 0800 400 70 90
www.viacaogarcia.com.br

セットで **お得** キャンペーン
『日本文化』5巻まで同時購入で **195レアルが160レアルに** **35%割引!!**
ニッケイ新聞で好評連載中の「国際派日本人要請講座」を中心に **日本独自の文化や歴史を** **日ポ両語で紹介!**
日本文化
日本文化1 R\$35,00 日本文化2 R\$40,00 日本文化3 R\$40,00 日本文化4 R\$40,00 日本文化5 R\$40,00
ニッケイ新聞大人気シリーズ!プレゼントにも!
お問い合わせ・販売 詳しくはニッケイ新聞社編集部まで・☎(11-3340-6060) 日系書店でも販売中! 地方発送も出来ます!
太陽堂 (11-3208-6586) フォノマギ竹内書店 (11-3104-3399) 高野書店 (11-3209-3313) UMANTYU SHOP - SANTO ANDRÉ (11-4472-4532)



Nikkei Shimbun

ニッケイ新聞

VENDA em BANCA

1949 TUNIBRATRAVEL 70th 2019
 Consulte nossos SUPER descontos
 Viagens para o Japão Desde 1949
 (11) 3346-8200 www.tunibra.com.br
 Pça da Liberdade, 170 - Liberdade - São Paulo

ANO XXII - Nº 5314

SÃO PAULO, QUARTA-FEIRA, 28 DE AGOSTO DE 2019

R\$ 4,00

お子様から大人まで
すべてのお客様を笑顔にする



FLY BETTER

国際的に有名なシェフが腕をふるった地方色豊かなメニューでより充実した機内食が楽しめます。フライト中はリラックスしながら、種類も豊富なドリンクを無料でお楽しみいただけます。

エミレーツのエコノミークラスで、より良い旅を。

